

## 令和4年度森林吸収源インベントリ情報整備事業関東ブロック現地講習会報告

開催日：2022年5月17日（火）

場所：群馬県渋川市（格子点ID：100200）

受講者：（株）GTフォレストサービス5名

講師：古澤、今矢、眞中、坂下（森林総研立地環境研究領域）

### 概要

関東ブロックを担当する（株）GTフォレストサービスを対象に、群馬県渋川市（ID100200）の国有林（植生：ヒノキ、スギ、アカマツ、広葉樹）において現地講習会を行った。本講習会は、受講者が調査を実施し、その調査内容を講師が確認・指導するという形式を採用した。受講者の内2名が本事業調査未経験であり、2班（経験者2名の班および経験者1名＋未経験者2名の班）に分かれて講習を実施した。調査地点は急傾斜地であったため、林内での移動は容易ではなかったが、天候がくもりだったことから、土壌調査などの作業は問題なく行うことができた。

講師・受講者ともにホテルルートイン渋川に前泊した。ホテル到着時に受講者に会うことができたため、林道入口のゲートの鍵をすでに借りていることを確認した。

講習日当日、8時30分にローソン渋川横堀店に集合し、互いに挨拶したあと、講習内容の概略を説明した。概略の説明後、受講者にGPSログを取得しているか確認し、集合場所からGPSデータの取得を開始しているとの返答を得た。集合場所から約10分車で移動し、林道入口のゲートに到着した。受講者が鍵を開けゲートを通過し、さらに10分ほど車で移動し、駐車スペースに到着した。駐車スペースで調査道具を確認し、ポリ袋に調査日を記載した後、9時10分に調査地点に移動を開始した。調査地点までの移動経路は徐々に急峻になっていったため、途中2回程度休憩をはさみながら移動し、9時50分に中心杭を発見した。東西南北杭も全て見つかり、中心杭のGPS情報の取得とライン張りの後、林相写真を撮影した。写真撮影の後、まずは2班に分かれて土壌断面作成を開始した。土壌断面作成の粗掘り際には、断面に平行な面だけでなく垂直にもスコップを入れて、予め根を切断しておくことで土砂を堀上げやすくなること、ブルーシートは断面の写真撮影の際に入り込まないように配置することなどを指導した。土壌断面の整形時には、堆積有機物層は徐々に切りながら進めていくこと、根は1～2cm残すようにすることなど、マニュアルに記載されている基本的な注意事項を説明した。土壌断面の整形後、断面の写真撮影とスケッチを行った。その際、石礫率は1桁の場合1%刻み、10%以上の場合10%刻みで記載することを確認した。

次に試料採取を行った。堆積有機物層を採取する際、土壌を混入させないように注意するよう指導した。また、採取枠内に根株がある事例もあったことから、根株から落ちている樹皮だけを採取するよう説明した。化学分析用土壌試料の採取については、奥行きが水平距離であること、0～5cmおよび5～15cm深度では地表面の傾斜に沿って採取することなどを

確認した。また、試料採取後に幅・奥行き・高さ・傾斜を確認するよう指導した。途中昼休憩をはさみながら、定体積試料の採取を行った。採土円筒を使って試料を採取する際は、常に片手を円筒に当てて保持するなどマニュアルに記載されている注意事項を説明した。ここで、講習会の進みが予定よりも遅れていたことから、採土円筒を用いた定体積試料の採取と、もう1地点の土壌断面作成を並行して進めることとした。未経験者のいた班については、2地点目の土壌断面整形およびスケッチまでを調査経験のある受講者が行い、未経験の受講者2名でマニュアルを確認しながら試料採取を行う形式で進めた。ここで、堆積有機物層を採取した際、落葉広葉樹のものとみられる花が採取枠内にある事例があった。花の取り扱いについてはマニュアルにも記載がなかったため、「T」として処理するように指示したが、マニュアル（もしくはQ&A）にその取り扱いについて記載があった方が良いように思われた。

また、2地点目の試料採取に並行して、調査プロットの見取り図を作成した。受講者が作成した見取り図を講師が確認し、改善すべき点を指導した。また、見取り図と傾斜構成簡易図を比較して矛盾がないかどうかを現場で確認するよう指導した。枯死木調査を並行して行い、マニュアルに基づいて指導したが、根株が調査対象範囲内になかったため、根株に関する講習は実施することができなかった。

最後に化学分析用試料の混合を行い、採取試料の確認と埋め戻しを行い、17時頃に調査地点から駐車スペースに移動を開始した。駐車スペースに到着後、講評を行い、17時30分頃に講習会を終了した。

一部の受講者は昨年度、本事業調査を経験していることもあり、手際よく丁寧に調査を進めている印象を受けた。また未経験の受講者に関しても、マニュアル内容に従い、丁寧に作業を進めていた。時間の制約もあり、講習会後半が駆け足になってしまったところもあったが、今回の講習会で確認した内容を受講者が十分に理解し、精度の高い調査が実施されることを期待する。



集合時の挨拶



林道入口のゲートを開ける様子



調査道具の確認



駐車スペースから調査地点に移動



林相写真撮影



土壌断面のスケッチ



堆積有機物層採取への指導



化学分析試料の採取



定体積試料の採取



円筒の整形作業



採取試料を確認



様式 A への記載内容の確認